

# 薬連ハイライト

## 組織強化全国会議がWEBで開催される!!

令和3年2月26日13時より『令和2年度 組織強化に関する担当者全国会議』がWEBで開催された。

組織強化委員会本田委員長の司会で始まり、最初に山本会長より「組織強化の主たる目的は、会員をどう増やしていくか、財政基盤をどう支えるか、そして集票力を高めていくという三本柱を考えながら、組織強化を高めていきたい」と挨拶があった。

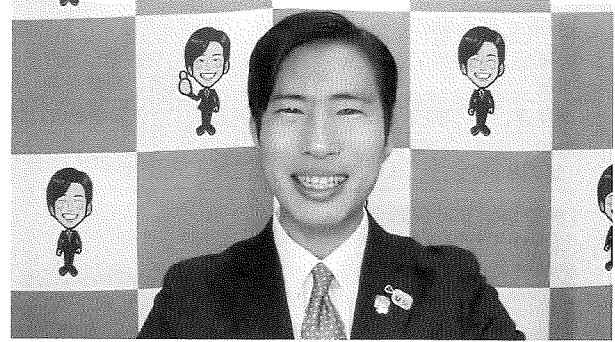
次に藤井もとゆき、本田あきこ両参議院議員より国政報告を兼ねた挨拶をいただいた後、神谷まさゆき副会長が「日本薬剤師連盟副会長の役割をしっかりと果たすことを約束します」と力強い決意を表した。

そして、本日の全国会議の主旨説明を荻野副会長が行った後、「組織強化のための手順書～ステップ

表の活用～Ver.3.1」を丹下総務が解説した。

休憩の後、6つの班に分かれて90分間のグループ別協議が行われ、次の戦いまでに、この手順書をどう活用するかについて議論が行われた。

最後に浜田副幹事長より閉会の挨拶があり、3時間10分に亘るWEB会議が終了した。



## もとゆき便り

### 来年度予算案審議は参議院へ

情報監視審査会会長  
参議院議員・薬剤師  
藤井 基之



令和3年度予算案は、3月2日に衆議院から参議院に送付されました。予算は、憲法の規定により年度内に成立することとなりますが、参議院として実のある審議を行うことが重要となります。

国会では政府提案の法律案の審議が始まります。厚生労働省は、「医療法等の改正法案」及び「健康保険法等の改正法案」の医療提供に係わる2つの法案を提出しています。

医療法等の改正では、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制を確保するため、医師の時間外労働時間上限規制の適用に向け、医師の労働時間短縮及び健康確保のための措置を講じること。タスクシフト等、医師の負担軽減を図ること。医療計画に新興感染症等への対応に関する事項を追加すること等が規定されています。

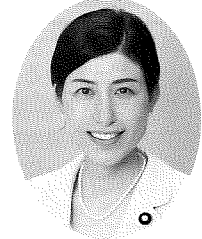
健康保険法の改正では、昨年末の「全世代型社会保障改革の方針について」を踏まえ、後期高齢者医療の窓口負担割合など、給付と負担の見直しを行うこと。育児休業中の保険料免除要件の見直しなど、子ども・子育て支援を拡充すること等、全ての世代が公平に支え合う「全世代対応型の社会保障制度」を構築することを目的としています。

新型コロナウイルスワクチンの接種が始まりました。皆様方のご協力により順調に接種が進み、感染症の収束への道筋が開けるものと期待しています。

## オレンジ日記

### 自殺対策強化月間

自民党厚生労働部会副部長  
参議院議員・薬剤師  
本田 顕子



「自殺対策基本法」では、例年、月別自殺者数の最も多い3月を「自殺対策強化月間」と定めています。地方公共団体、関係団体等とも連携して「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現に向けて相談事業及び啓発活動を実施しています。

長引くコロナ禍における生活で、日本の自殺は11年ぶりの増加となりました。自殺は複合的な要素が絡んでいるのでコロナ禍だけが直接の原因とは断定できませんが、昨年10月からの統計結果を見ますと増加しています。小・中・高校生の自殺者数も統計開始以来最多となりました。困窮する女性の支援についても対策の重要性が高まり、2月12日に「孤独・孤立対策担当大臣」を坂本哲志一億総活躍担当大臣が担当されることとなり、内閣官房に担当室が設置されました。

ところで、自民党の女性局の取組として、今年から自民党女性局の地方議員を対象とした「政策ミーティング」と題した勉強会が始まりました。第2回目のテーマは要望が多かった「自殺」を取り上げ、私が講師を務めました。講演資料を作りながらもう一つの言葉を思い出していました。2025年に向けた「地域包括ケアシステム」です。包摂的に地域医療を支える仕組み作りも地域の皆様の命と健康を守るための仕組み作りだと考えます。どんな時でも地域の皆様の命を守るように、この困難な時を乗り越えて行きたいですね。

引き続きのご指導をよろしくお願い申し上げます。